

人的ネットワークによる承継の実現

専門家：中小企業診断士 庭野 勉 / 担当コーディネーター：南波 剛



友利 千里 氏

Focus Point

- ▶ 外部の支援機関や専門家の支援を受けながら、最終的には代表者の人的資産（事業者間ネットワーク）を活用した第三者承継へと結びつけることができました。
- ▶ 事業終了の期限を明確に定めたことで、覚悟とスピードをもって行動できました。



事例動画あります

株式会社 東光企画

代表取締役 友利 千里

業 種：写真業

所在地：東京都東村山市栄町2-20-43

※「東光企画」は52年の歴史に幕を下ろし、第三者承継によって令和7年4月に新オーナーへの引き渡しが完了しました。

西武新宿線・久米川駅において、長年にわたり、人生の節目となる記念写真や証明写真の撮影、写真加工やプリントなど、顧客のニーズに応じて撮影から映像に関するサービスを提供してきた株式会社東光企画。承継後は新しいコンセプトのフォトスタジオとして営業しています。



在りし日の「東光企画（スタジオ写真館東光）」



Before 相談内容

- ▶ 心身共に受けたダメージが大きく、事業の終了を決意
- ▶ ベテラン社員の高齢化と進まない人材育成

1973年に父親が個人事業として創業したのが、当社の始まりです。元銀行員であった父は、写真への情熱から転身し、自宅裏に暗室を設けて白黒写真の現像・プリント（DPE）を手掛ける事業をスタートさせました。最盛期には東村山市内のみならず、八王子市や吉祥寺駅近くにも店舗を構え、母が店長をしていたバックとアクセサリーの店を含め、合計5店舗を運営するまでに拡大しました。多摩地区で先駆けて導入した「DPE45分仕上げサービス」が絶大な支持を集め、当時は長蛇の列ができ、フィルムメーカーが見学に来るほどの盛況だったそうです。しかし、デジタルカメラ、スマートフォンの急速な普及によって、DPE事業は衰退化してしまいました。そのため事業の軸をスタジオ撮影へと移し、複数あった店舗も久米川駅前の1店舗に集約して事業の縮小・再構築を図りました。私は大学で写真を学び、他社でカメラマンとして働いた後に当社に入り、2015年に父から会社を承継しました。経営者として多忙な日々を送る中、いつの間にか心身に不調をきたすようになり、1年で最も多忙な成人式の準備期間中、高所作業中に転落して打撲を負ってしまいました。そしてようやく回復の兆しが見えた頃、今度は食中毒により緊急入院することとなりました。立て続けにダメージを受け、

しかも具合が悪くても、「自分が倒れたら仕事が滞ってしまう」「休みたいときに休めない」という状況にあり、とうとう精神的にも限界に達してしまいました。また事業を支えてくれていたベテラン社員たちが高齢化し、退職の意向を伝えられていたものの、後継人材の採用・育成に難航していました。こうした状況から「これ以上、皆に無理をさせられない」との思いに至り、テナントの契約更新に合わせた2025年4月期での事業終了を決断しました。しかし、長年利用していたお客様のことを考えると、事業を完全に終わってしまうことに対する心残りもありました。そこで商工会へ相談したところ、第三者への事業承継という選択肢を提案していただき、当支援の申し込みをしました。



体調不良に苦しむ中で最善の形を模索した友利氏



Support 支援内容

- ▶ 外部機関を利用し候補者探しのチャネルを広げる
- ▶ 円滑な交渉に向けて心理的にもサポート

第三者承継に向けて動き出したものの、候補者をどのように見つければよいか、自社のどのような点を魅力として伝えればよいか等、具体的な手法が不明確でした。また、事業の終了が1年後と迫る中、日々の事業運営と承継準備をいかに両立して進めていくかが大きな課題でした。そこでまず、幅広く候補者探しを行うために、日本政策金融公庫、東京都事業承継・引継ぎ支援センター、BATONZ（バ

トonz）など外部の引継ぎ支援機関を積極的に活用しました。問い合わせが10件程あり、そのうち数件の候補者とは具体的な面談へと進みましたが、成約には至りませんでした。学習塾や美容院など、写真館経営の経験が全くない方が多く、私が望む写真館としての事業継続という条件とはなかなか合致しなかったことが主な要因でした。候補者探しは難航し、もう廃業しかないかと諦めかけていた2024年の年末、廃業後の機材売却について相談をした知人が、写真家仲間の会合で事業の引継先を探している話をしてくれました。偶然、その場に居合わせた写真館経営者が強い関心を示し、年内に最初の接触がありました。事業への深い理解があり、年明けには具体的な引継の手続きへと急進しました。こうした引継先との交渉について、助言や心理的なサポートをしていただいたのはとても心強く、本当に助かりました。そして当初の予定どおり、2025年4月に承継が完了できました。



人々の想いの記録とともに、多くの歴史を積み重ねてきた東光企画の写真スタジオ

事業承継支援をお考えの方へ

「何を」「誰に」「どのように」引継いでほしいのか、あるいは譲れない条件を前もって明確に定義できたことがよかったです。また、引継先との交渉を円滑に進めるための専門的なアドバイスや心理的なサポートのおかげで、安心して意思決定へと結び付けることができたのだと思います。（友利 千里氏）

担当者の声

第三者承継、廃業のいずれの選択肢もはじめてのことで、不安を感じておられました。当支援により、意思決定における懸念事項や行動の優先順位に関する不安を払拭することで、良縁にめぐりあい、円滑な事業承継を行うことができました。（コーディネーター 南波 剛）